令和７年度　教育基本計画

十津川村教育委員会

教育目標

ふるさとを愛し　ふるさとでの学びを活かして
新しい時代を築く　心豊かな子どもの育成を目指す
～　活力と創造力をそなえた人間形成を学校教育と地域連携で育む　～

1　重点目標

(1)　教育環境の整備を図り、豊富な教育資源を活用して、確かな学力を身に付ける。
(2)　正義感や責任感、連帯感を育み、豊かな人間性を育成する。
(3)　たくましい体力と強い精神力を育む。
(4)　地域との連携を一層強化し、「ふるさと教育」の充実を図る。

2　具体的目標

(1)　確かな学力の育成に向けて
①　新しい時代を生きるために必要となる資質・能力を育成するために、「主体的・対話的で深い学び」を実現する教育を推進する。
②　学力の基盤である読解力を育成するための取組の充実を図る。
③　教育 DX（デジタルトランスフォーメーション）を推進し、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を図る。
④　地域の人材・自然・文化・歴史等の豊富な教育資源を積極的に有効活用することで、基礎基本の知識だけでなく幅広い知識を習得させる。
⑤　学校ごと、教員ごとの取組はもとより、十津川地域連携教育推進組織における研修や実践を通して、教員の資質向上と児童生徒の学力向上を図る。
⑥　全国学力・学習状況調査や県独自の到達度テスト等の分析を徹底し、課題を克服するとともに、家庭との連携を強化し、家庭学習の充実を図る。

(2)　豊かな人間性の育成に向けて
①　道徳教育は、特別の教科である道徳を要として、学校の教育活動全体を通じて行い、自己の生き方を考え、主体的な判断の下に行動し、他者とともにより良く生きるための基盤となる道徳性を養う。
②　人権教育の充実を図り、常に誠意を持って人に接し、生命に対する畏敬の念を持つ豊かな心を育成する。
③　特別な支援を要する児童生徒と要しない児童生徒の交流及び協働学習を通して、互いに尊重しあいながら協働して生活していく態度を育む。
④　集団生活やボランティア活動また様々な体験活動を通して、基本的な生活習慣やルールを身に付け、豊かな人間性や社会性を育む。
⑤　学校や学年また学級行事の意義を周知させ、連帯感や所属感を共有させるとともに、リーダーの育成を主眼に置き、達成感、自己肯定感を育成する。また、村内小中高の連携･交流においても、同様の目標を有する。

(3)　たくましい心身の育成に向けて
①　積極的に運動に取り組む態度や生涯にわたって運動に親しむ資質を養い、自らの体力向上に向けて目標を立て、主体的に取り組む力を育成する。
②　自ら判断し、正しく行動のできる防災教育の充実を図る。
③　健康教育、安全教育（生活・交通安全）の充実を図る。
④　食に関する指導の全体計画や年間計画に基づき、学校教育全体を通して食育指導の充実を図る。

(4)　「ふるさと教育」の充実に向けて
①　学校生活全般や総合的な学習の時間を活用して地域の良さに気付かせ「ふるさと」に愛着を持つ子どもを育てる。
②　地域の行事や活動に積極的な参加を促す。
③　地域の自然・歴史・文化・伝統行事といった教育資源を活かし、学校・家庭・地域が一体となって、ふるさとに誇りを持つ子どもを育てる。